

# ◎地方通信

## 東海方面

### 道路改良の機運を振興した道路の完成

豊橋市内に於ける道路改修事業の先驅を爲し市民の自發蹶起を促した大手線魚町から船町線に至る魚指笠町線道路の竣功式が三月二十一日午前十一時から盛大に舉行された。本工事は去る大正七年魚町田中田新氏等沿道の有力者が自發的に計畫し市へ陳情の結果大正十年市會の議決する所となり、十一年八月工事に着手し家屋の移轉等につき多大の困難を排して足掛五年の日子と、工費十二萬五千八百餘圓を投じて竣功せしめたもので、延長四百九間、幅員四間を有する幹線道路である。而して其の沿道は將來商工業の中心地を形成すべき状態に在るので今後の發展につき多大の期待を持たれて居る。

### 道路改修と受益者負擔

豊橋市では花田大山塚踏切前後の道路改築費の一部金一萬五千八百餘圓を沿道受益地域に於ける土地所有者から徴收することゝ

なつたが、右は同市に於ける道路工事に因る受益者負擔金徴收の嚆矢である。

### 道路の改修で地價の昂騰した西尾町

愛知縣幡豆郡西尾町の宅地價は茲十數年の間大した値上りもなく、市街地の最も目貫の場所でも坪百圓見當で、他の地方に比べて低廉なりしことは同町の發展が遅々たることを雄辨に物語るものであつた。然るに一昨年幸町地内の府縣道を改修し之に引續き其の東西に連絡する道路を六間幅に擴張して延長二十町に亘る幹線道路を開設するや、頓に面目を一新して其の沿道には鐵筋コンクリート造の洋風建築を見る等將來に於ける大西尾の中心地の實を備へて來たので、地價は俄に昂騰して右幸町地内では坪五百圓を下らず、其の他の方面に於ても亦道路の改修と町勢の著しい發展とに因つて五割乃至十割の昂騰振りを示して居るので、此の勢で、進んだら最高坪千圓に達するのゝ遠い將來ではあるまい。

## 信越方面

### 柏崎地内の縣道一部變更

新潟縣刈羽郡柏崎町の臨港道路と柏崎驛との聯絡を便にする爲に、道路を改築することは、同町が大洲町を合併して以來の希望であつたが、今度同町の廣小路大掛呉服店前から鶴川を経て、元

大洲の荒町に通ずる橋梁新橋を、日石化學研究所の脇から眞すぐ柳橋の笠原氏宅前に架けかへ、縣道の一部を本線に變更すべく、計畫し關係地元枇杷島村の同意をも得たから近くその筋の認可を得て右道路の改築を實行することになつた。

## 東 北 方 面

### 佳景山驛附近の堤防へ櫻樹移植

石ノ巻線佳景山驛附近の北上川堤防に櫻樹を植えつけて、此の附近の名勝地としようといふことが高唱され、千葉當五郎氏が主唱となつて着々準備中であるが、北上堤防は縣道になつてゐるので縣當局の諒解を得べく目下交渉中である。此の計畫は地方民一般に期待されるところとなり佳景山驛附近の篤志家は競ふて寄附を醸出してゐる有様で容易に目的を達成するであらうから茲數年後の陽春には一かどの櫻花の名勝地となるであらう。

### 亘理町道路改修

宮城縣亘理郡亘理町より亘理停車場に至る櫻町道路は、亘理より荒濱に通ずる唯一の縣道として人車の往來繁く、殊に驛の乗降客及貨物が年と共に増加するに従ひ現在の幅員では往來雜踏し、交通上の不便はもとより危険も少くないので客年町會に於て委員を擧げ、上田知事に擴築方を開陳するところがあつたが、現在の路

線による擴築は場所柄用地買収費及移轉費が多額に上り町費膨脹せる折柄其の分擔も困難である。一方同町五日町南端蠶業取締支所通りより南新町を経て停車場に通ずる町村道は櫻町道路の副路として、且つ南部の發展の上からしても有用な道路たり得るもので之を相當改築するとしても、前者に比し遙に少額で済むので町當局及有志者は寧ろ此の道路を改良した方が得策であらうと目下企劃中であるが、町民も此の道路の改良の方に賛成してゐる由であるから近く此れに就ての具體的方法が成立するであらう。

### 仙臺市營電車工事着手

仙臺市營電車の第一期工事は清水小路線の進捗と共に、全力を南通り線に注ぎ目下基礎工事を進めてゐる、清水小路は商業地區でないだけに軌道敷設の土工の爲に目立つた故障を生ずることがなかつたが、南通り線になると矢張り直接の影響が町内各商店に及ぶので、沿道の者は此の點に就て市當局に出来るだけの手加減を希望してゐる。尤も電車工事は豫期したことであり、且つ第一期線なる多大の期待もあること、苦情の申出では差控える旨の申合せは出来てゐるが、土工の進捗に従つて或は通行者の影を没することに於ても計り難いので、この際兩側の人道だけは最も早く取片付ける様に措置を願いたいと云ふのである、この人道工事に關しては當局でも其點に留意して施工して居るは勿論であるが、只場所によりては未完成の儘長らく放置してゐる所もあるの、其の地區の商店はその間少なからず消極的損失を受けねばならぬ仕末である、仍て此等の問題について町内有志者は、最

も穩便な手段で當局の諒解を得たいと目下協議中である。

## 中國方面

### 尾道市道路舗装費負擔問題

東宮殿下の中國御巡啓に際し廣島縣尾道市にも成らせらるゝことになつたので、尾道警察署裏手より驛前迄の縣道にアフアルト舗装を施すことになつたが其の費用の出資方に就ては、其總額の二分一を縣費負擔として殘額を市と沿道の住民とが負擔する事となり、市當局と住民とは幾度か會見して其の分擔方法が漸く決定したが、何分坪二十圓も要し少し間口の廣い家では負擔額が三四百圓にも達する者さへある、而して自分の所有家屋に居る者は夫れに甘んずるが、借家人は該負擔金は當然家主の負擔すべきものであると主張し、一方家主側には現在其家に居住してゐる借家人が負擔すべきが當然であると主張し、家主と借家人の間に其負擔の譲り合となつて目下紛糾を重れてゐるが、結局家主側が腰強く借家人が其負擔を免れぬ様な形勢である。

### 神田橋改築工事竣成

本橋は廣島市白鳥九軒町より市外牛田村に通ずる府縣道に架する鐵筋コンクリート桁橋であつて、大正十四年七月十五日着手、爾來百八十日の日子と、二萬七千四百四十四圓の費用とを以つて、

大正十五年一月二十日目出度竣功した。

今計畫の概要を見るに橋長五十二間、有効幅員三間、經間八間中央反り二尺五寸で東側一徑間だけは四間である。而して橋面は平均厚さ一吋半の「アスファルト」を以て舗装し且つ橋體は二徑間毎に伸縮接合装置を以て橋體の伸縮に備へ、桁下には「トランス」銅板二枚を重ねて橋體と橋脚とを絶縁した。橋桁は高さ二尺五寸幅一尺二寸五連で、床板厚五寸、高欄三尺、中央及兩橋臺上には各二個總計六個の花崗石男柱を設置し、各上部には鑄鐵製電燈柱を設け橋脚は一尺五寸角柱三本建とし、各杭の根入は十八尺以上となし中間二ヶ所に水貫を設置して各杭の連絡を計つてゐる。

### 道路用地買收調停

下關市は縣當局よりの依頼により市内壇ノ浦から前田に至る豊浦郡長府町下關市間國道擴張に伴ふ用地三百二十七坪買收方の調停に立ち、交渉委員は地主側と交渉してゐるが、兩者の間に値開きがあり、地主側は坪二百六七十圓を主張し、縣は二百圓乃至二百十圓と要求して兩者互に譲らず、交渉困難となつた、そこで山崎下關市長は自ら調停に立つ事になり其の結果交渉は案外順調に進み近く圓滿解決を見るであらうと見られて居る。

## 九州方面

### 福岡市に架橋問題

福岡市大正十五年年度豫算參事會は三月十三日を以て終了し、一般會計に於て四千二百五十三圓修正削減された。

尙福博電鐵線の那珂川尻、柳橋、綠橋、石堂川尻の四鐵橋は電鐵専用で人車の往來が出来ない爲久しく不便を感じて居り、就中兩川尻架橋問題が屢々論ぜられてゐるか、那珂川尻架橋費は十二萬圓見當で既に昨年來右工事費の積立てを始めて居る處、今回の參事會に於ては又々石堂川尻架橋の方急務なりとの説出で、従つて那珂川尻架橋延論が起つてゐる。市會に於ては多分双方共十五年度迄は實行見合せとなる可く、其代り或は綠橋架設の建議が持出されるかも知れない模様である。該橋架設費は約四萬圓位の見込であるが、是も假令建議は可決されても堅粕町の市合併問題が實際化する迄は實行されぬだらうと見られてゐる。

### 名瀬久慈間電柱問題

鹿兒島縣大島郡内、縣道改修の結果名瀬町郵便局附近の電柱が改修道路の真中に立つことになり、車馬の往來のため柱が損傷するばかりでなく、大切な電線に振動を與へて通信上にも電柱保存上にも支障甚だしく、尙下水が流れ込んで電柱腐蝕の原因となり、その上名瀬から久慈に至る間の電柱は大半埋没されたり傾斜したりして居るとの苦情の公文書が熊本遞信局から鹿兒島縣當局へ舞ひ込んで來た。縣當局でも負けても居られず、抑々遞信省で同地方の電柱建替に際し縣道改築計畫の幅員其他が判明して居ない時に拘らず、在來の位置に建替をしたのは内務遞信兩省の協議に適つたものとも認められず、而も當時縣に對して何等の交渉もせず

勝手に道路を掘鑿して電柱建替工事を施行して今更お小言でもあるまい、若し云ふが如き電柱の保存並通信上支障があると云ふならば、遞信當局に於て其の當時十二分の調査研究をするのが當然である。尙ほ又名瀬久慈間の側溝を設くる時に際しては業々電柱の位置を避けて工事をした位で縣としては相當の措置を講じてゐるのである、それに今更費用を投じて遞信當局の專斷で建設した電柱を移轉するの必要は認めないから將來遞信局で整理の必要があれば適當に處置されたい、要するに縣は縣の必要より起つた電柱移轉に對して故無く今日迄放置したなどとの事實は毛頭無いと一本逆捻を發した由であるが此の納まりは頗る興味を以て見られて居る。

### 鹿兒島縣と道路改修

鹿兒島縣に於ては昨年新に認定された未改修府縣道路線に對する改修計畫を樹てたが、緊縮消極豫算のために僅に八萬圓を増額計上したのみで、之に地元の寄附を合してもほんの一部分の開墾費に過ぎないので、既に測量を終了したものは霧島郡の城線から分岐して霧島神宮前を通り、牧園停車場前及び丸野温泉場に通ずる二里半餘と、入佐鹿兒島線の一部鹿兒島市内並に垂水より咲花平に至る櫻島嶺岩道路であるが、縣財政の關係上先づ霧島郡城線及び入佐鹿兒島線の一部の改修工事に着手し、政府の方針が積極的に轉ずる時期を待つて財源を起債に求め、漸次改修に着手して道路交通網完成の豫定である。